

津市立ハツ山小学校だより

この学校にわたしたち

2023. 7. 24

N024

AI と人間の心



世界の有力・経済学者が集まって開催されるダボス会議。2018年の会議の中で「今からの10年の間に今ある職業の約7割がなくなるだろう」と発表されました。その時は正直、私は半信半疑で危機感をあまり感じませんでした。それから5年が過ぎ、ここ最近、AIが個人でも使用されるようになり、急速に現実化してきました。私の知人が最近AIを使ってみて、その回答のパーフェクトさに驚いたと聞きました。レストランやコンビニで無人化の実験がすでに多くの企業で始まり、画面上やロボットの店員が商品を運んで来てくれたり、質問に答えたりしてくれます。膨大なデータからの情報を瞬時に回答を示してくれるAIですが、AIにできないことは、目と目で思いを感じ合うことと“間”を取るのだと私は考えます。私は職業上、多くの保護者の方からの相談を受け、反対に人生の先輩やカウンセラーに数多く相談をしてきました。聞き役として、「大丈夫」という言葉は安易に使うものではないと個人的に思っていますが、かつて大きな不安に襲われた時、ある人に目を見て、少し微笑みながら「大丈夫」と言われた時、私は本当に大丈夫だと思えた経験があります。また、カウンセラーは時に間を取り、話し手に考えさせる時間を作ります。瞬時に回答を出すAIにはこの2つのことはとても難しいと思います。何十年も前から、いじめが社会問題化したころから、“心の教育”が叫ばれ、道徳(科)の授業が重視されてきました。道徳教育の大切さは言うまでもありませんが、大切なのは小さい頃から、いろいろなものを手で触り、暑さ寒さや風を肌で感じる、雲の形、虫の鳴き声など見過ごしがちなものをきちんと見る経験だと思います。

また、読書や音楽・絵画鑑賞を通して些細な色や音の美しさを感じ取ること、そして周りの大人から「偉いね」という評価ではなく、「有難う」や「今日は暑いね」などの情的な言葉のシャワーをいっぱい浴びて育つことだと思います。毎日毎日、そんな言葉ばかりかけていられないですが、そのことを意識していくことが大切だと思います。(ハツ山小の子どもはこれらのことをきちんとご家庭でいただいていると表情をみれば分かります。)今、大人も多くが生きづらく、心の病気にかかっているとあちらこちらで耳にします。これからはますます“心の時代”です。大切な小学生の時代に、困っている友だちを見たら「何とか励まそう」と自然と思える心を育てていけるよう、今後ともご家庭と連携をしながら努めていきたいと思っています。

夏の夜空を眺めてみませんか？

猛暑・酷暑の夏。みずがめ座δ(デルタ)流星群(7/31)、ペルセウス座流星群(8/13)、お子様と眺めて、宇宙の神秘を感じてみませんか？

